



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'96 11月号



## 今月の寄贈品コーナー 縄文土器作品展 11月1日(金)~11月29日(金)

■小学生・中学生の夏休み期間にあわせて、「縄文土器」を作りました。昨年は「磨製石斧」。身近にある素材、土・木・石などを使って、古代人の道具を作り、生活の知恵を体験する企画です。

■3日間連続で縄文土器の形を作り、2週間ほど乾燥させてから、野焼きを行いました。粘土は市販のものに、黒土と砂を混ぜたものを使いました。約5000年前の五領ヶ台式土器を手本として、全員同じものを作りました。

### ■子供達の感想

○昔の人は、気が長いなーと思った。一つの土器を作るのに、こんな長作業をするなんて、すごいなーと思いました。とてもいい体験をしました。

○ぼくは、初めて土器を作った。土と粘土を混ぜるのが一番きつかった。まぜ終わってヘビのように長くしてかさねて形をつくる。もううづけをしてできあがり。つくっているときは、とても楽しかった。

○土器を焼くときは、あつくて近寄れませんでした。木を入れる時、あつくて木をなげ捨ててしまいました。でも、縄文土器を作って楽しかったし、友達ができて、いい体験になりました。また、やりたいです。

○縄文人はとってもめんどくさいことをやっていたんだと、ちょっと感心しました。私は縄文土器を作りながら、昔の人になりきって作った。連続3日間のときはちょっとたいへんだったけど、ガンバッた。みんなもガンバッテいた。

■子供達には初めての体験。しかも、4日間と長い作業。学校生活とは別の世界。不安と期待の狭間のなかで、一人一大変頑張って作り上げました。この貴重な体験が、実生活の中で生かされればと思います。思いを込めて作り上げた作品を、ぜひゆっくりご覧頂きたいと思います。

# ヘルボップ彗星がやってくる

## ★巨大彗星発見

いよいよ巨大な彗星が近づいてきます。今秋から来春にかけて、その巨大彗星を見ることが出来そうです。ヘルボップ彗星と呼ばれ、95年7月に地球から10億kmもの彼方にいる時に11等星という明るさで発見されました。発見者はアラン・ヘルルとトマス・ボップという二人のアメリカの彗星観測者です。

この彗星が発見された位置は木星と土星の軌道の中間という、それはけたはずれに遠い場所でした。なにしろあのハレー彗星でさえ16等位にしかならない遠さなのです。それはこの彗星が単純に見積もってもハレー彗星の100倍の明るさを持つのです。遠くても明るいということは、巨大なのか、その時また明るかったのか、二つ考えられますが、その後の世界各地の天文台の観測から、巨大な彗星であることがわかつてきました。

## ★彗星の正体

彗星と言えばハレー。もう10年以上前になりますが、ハレー彗星ほどその正体を詳しく調べられた彗星は他にはありません。なにしろ世界中がハレー彗星の観測をしましたし、日本をはじめヨーロッパ、ソビエト（当時）がハレー探査ロケットを打ち上げ、競うようにハレー彗星の正体を見極めようとした。

特にヨーロッパが送った探査機「ジオット」は、ハレー彗星の頭部につっこみ、彗星の核を撮影するのに成功しました。その大きさは $8 \times 8 \times 16$ km。ハレー彗星の正体はいびつなじやがいもみたいな形をした天体でした。ざっと富士山の10倍くらいの体積があります。これは太陽系の天体としてみると大変小さな小惑星な

みの天体です。ヘルボップ彗星が巨大だと騒がれていますが、それでも直径40kmくらいと推定されています。

しかし、太陽に近づく彗星は、ほうき星の名の通り、長いしっぽを伸ばした巨大な姿になります。ではなにが本当の彗星の正体なのでしょうか。

彗星は「汚れた雪玉」と言われる事があります。岩の固まりではなく、主に水とメタン、一酸化炭素などの蒸発しやすい物質とチリや小さな岩石などがこおりついでいた天体なのです。

それが太陽に近づくと、太陽の熱であぶられ、蒸発して周囲に広がり、もやに包まれたような彗星独特の姿になります。尾は太陽風に流されたガスとチリが長く伸びて出来ます。尾が長く伸びる彗星は、太陽の近くまでやってくる大きな彗星に限られます。

## ★ヘルボップ彗星の軌道

ヘルボップ彗星の軌道はふつうの惑星のそれとはだいぶ違っています。惑星は黄道面とよぶ平面上を円に近い軌道で同じ向きに回っていますが、彗星は放物

線に近い細長いだ円軌道を通るものが多く、おまけに黄道面から離れた軌道を通るものもあります。ヘルボップ彗星も細長いだ円軌道を通り、黄道面に対し90度近い傾きをもっています。そして、その周期は三千年以上と計算されています。

## ★インターネットに流れる最新情報

インターネットにはヘルボップ彗星の最新の観測結果が流れています。その情報を見ながら、今年の暮れから来年の春まで、いつ、どこにどんな姿で見えるか、彗星ウォッチングのための解説をします。



10月13日のヘルボップ彗星 国立天文台

★投影日程 11月24日～9年1月5日

★冬休み期間中は毎週水・木・土・日曜の11時と2時の2回投影します

寄贈品の紹介

## 剥ぎ取り鍛冶炉（坪ノ内遺跡）

先月の9月25日、坪ノ内遺跡調査団（団長：林原利明）より、鍛冶炉の剥ぎ取りと鍛冶炉の複製品や写真パネルが当館に寄贈されました。

寄贈された資料は2階の「奈良・平安時代のくらし」の前で展示しておりますので、ぜひともご覧頂きたいとおもいます。

坪ノ内遺跡は国府推定域の北東端に位置しており、過去の調査事例からも有力な曹司（施設）群の一角が発見されています。

今回の調査での最大の成果は、鍛冶構の発見かとおもいます。長さ12m、幅5mの細長い建物の内部に、径40cmの円形の鍛冶炉が整然と2列に並んで発見されました。このタイプのものは、連房式鍛冶炉といわれ、官衙鍛冶工房と呼ばれています。有名な遺跡では茨城県の鹿ノ子遺跡がありますが、南関東では初めての発見です。

この発見は、相模国府所在地論にも係わる重要な問題を含んでおり、今後大いに議論されることと思います。

最後に、たいへん貴重な資料を寄贈していただいた林原利明氏に厚くお礼申し上げます。



●坪ノ内遺跡（写真提供：林原利明氏）

## 自然観察ゼミナール 「鳥のねぐら入門」

※鳥のねぐらってなんだろう？

多くの鳥は昼間に活動し、夜は安全な場所で眠って過ごしています。こうした場所のことを鳥のねぐらと呼んでいます。

※鳥は1羽で寝るの？それとも大勢で？

1羽で寝るか集まって寝るかは、種類によって違っています。シジュウカラは昼間は群れていますが、夜は1羽づつに分かれて過ごします。オナガやエナガは昼間も夜も同じメンバーの群れで過ごします。ムクドリのように何千羽もが集まって集団ねぐらを作る種類もあります。

※集団ねぐらは平塚でも見られる？

高麗山の地獄沢には、カラス類の2000羽を越す大きなねぐらがあって、夕方、尾根を乱舞する姿が見られます。川沿いの竹藪や屋敷林ではコサギが集まって寝る場所があります。

※変わった所で寝る鳥は？

ハクセキレイは、橋桁や工場の屋根などに集団ねぐらを作ります。平塚では国道1号線の馬入橋に約2千羽が集まるねぐらがあります。このハクセキレイは昼間は、秦野や大磯などにも飛んで行っていることが分かっています。

※ゼミナールではどんな観察を？

室内の話では、鳥が種類によってどんな所で何羽で寝ているかを紹介します。特に、集団ねぐらを作る鳥については、集まる理由や、ねぐらの調査から分かることなどを詳しく紹介する予定です。野外観察では、まず花水川の土手に行って、ねぐらに向かういろいろな鳥の動きを観察します。2回目には馬入橋のハクセキレイについて、数の数え方や記録のとり方の実習をします。

日程／11月24日・30日・12月14日

申込締切／11月15日

## 11月の行事予定

2	土	みんなで調べよう「ひつつき虫調べ」 地質調査会（館内）
3	祝	○特別展記念多面打大会（紅谷町パールロード）
8	金	○星を見る会「ヘルボップ彗星を見よう」
9	土	○漂着物を拾う会（平塚海岸） 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会「ヘルボップ彗星の観察」
10	日	○こども観察会「落ち葉を調べよう」 (高麗山～浅間山) 相模川の生き立ちを探る会「扇山に登る」 民俗探訪会「八王子道を歩く」 (厚木市相川) ○特別展記念木谷門下一日指導碁教室
13	水	地質調査会（館内）
14	木	石仏を調べる会
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
17	日	○体験学習「藁草履を作ろう」 古代遺跡を探す会 ○特別展記念木谷門下一日指導碁教室
20	水	裏打ちの会
24	日	○自然観察ゼミナール「鳥のねぐら入門」 地質調査会 ○特別展記念木谷門下一日指導碁教室
28	木	石仏を調べる会
30	土	○自然観察ゼミナール「鳥のねぐら入門」 マイピングミュージアムのお知らせ会 特別展期間中の金曜日は午後7時まで開館します。

## 12月の行事予定

1	日	民俗探訪会「八王子道を歩く」(厚木市依知)
4	水	地質調査会（館内）
8	日	相模川の生き立ちを探る会（谷太郎川）
12	木	石仏を調べる会
13	金	天体観察会「ふたご座流星群の観察」(函南)
14	土	○漂着物を拾う会（平塚海岸） 地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会 ○自然観察ゼミナール「鳥のねぐら入門」
15	日	○体験学習「お飾りを作ろう」 古代遺跡を探す会
20	金	○星を見る会「冬の星座を見よう」
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
22	日	○体験学習「家紋鳳作り」 地質調査会
26	木	石仏を調べる会

○は参加自由 ○は申込制 他は会員制

## ●牛寺另里展

「十九路に道を求める棋士—木谷實—」

・会期：10月1日（火）～11月29日（金）

☆特別展記念多面打大会

木谷門下棋士と市民との多面打（当日申込20名程可）  
の他、囲碁入門教室、詰め碁コーナーなども催します

・日時：11月3日（日） 13:00～16:00

・会場：紅谷町パールロード

☆特別展記念木谷門下一日指導碁教室

毎回3人の木谷門下会の棋士があなたと指導対局をします。1日に2回実施します。

・日程：11月10日、17日、24日（日）

・時間：13:00～16:00

・会場：博物館講堂

・参加：当日12:00～13:00に博物館で受付。18名を超えた場合は抽選します。

## ●展示販売コーナー

「縄文土器作品展」：11月1日（金）～11月29日（金）

「身近な野鳥」：12月1日（日）～12月26日（木）

## ●プラネタリウム一般投影

「流れ星の降る夜～しし座流星群編～」

・期間：11月17日（日）まで

「ヘルボップ彗星がやってくる」

・期間：11月24日（日）～1月5日（日）

・投影日：土日曜日

・時間：①11:00 ②14:00 ・観覧料：100円

## 参加者募集

## ●体験学習「藁草履を作ろう」

昔懐かしいワラゾウリを作つて履いてみよう。

日時：11月17日（日） 10:00～15:00

場所：博物館

〆切：11月9日（土）

## ●自然観察ゼミナール「鳥のねぐら入門」

集団で夜を過ごす鳥たちについて紹介する3回連続の講座です。

①お話「鳥のねぐらとは？」

日時：11月24日（日） 14:00～16:00

場所：博物館

②野外観察「コサギのねぐら」

日時：11月30日（土） 15:00～18:00

③野外観察「ハクセキレイのねぐら」

日時：12月14日（土） 15:00～18:00

〆切：11月15日（金）

\*申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「〇〇〇係」へ

## ●星を見る会「ヘルボップ彗星を見よう」

・日時：11月8日（金） 19:00～20:30

・場所：博物館屋上（科学教室集合） ・参加自由

## ●漂着物を拾う会

海岸に打ち上げられた動植物や人工物を拾い調べます

・日時：11月9日（土） 9:30～11:00

・場所：平塚海岸（花水川橋平塚側記念碑前集合）

・参加自由

あなたと博物館 21巻8号 錦237号 03000 発行 平塚市博物館  
 〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949